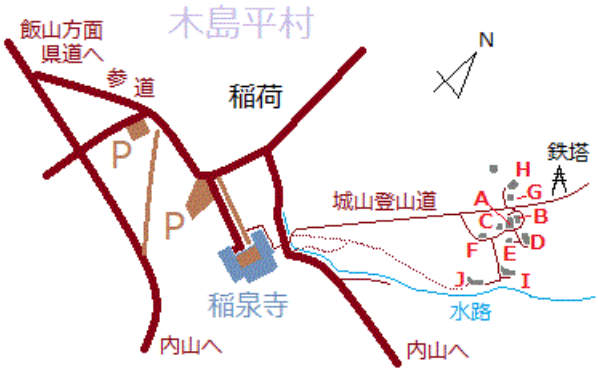
信州木島平　稲荷ボルダー Ver.3.0

令和 6 年 7 月 1 日　RCT/K



2020 年夏、飯山市と木島平村の境にある昔から地元の人に親しまれてきた「城山」の登山道が大分荒れていたので、地元の了解を得て幾ばかりの整備を行った。

その際、偶然にも登山道沿いを中心に幾つかのボルダーを発見したが、その中でもこの稲荷ボルダーは質量ともに最も充実したエリアであった。

ボルダーは大小さまざまで、ハイボールも幾つかあり、ハングからスラブまで変化に富んでいる。ホールドは逆層の岩が多いので、外傾ホールドが多く、最後まで気が抜けず登りにくい。しかし、それがこのエリアの課題を面白くしている特性と考えることもできる。

岩質は安山岩系統で一部を除きしっかりしている。また岩は尾根上の左右に多くあるので乾きは良さそうだが、苔の多いところを見ると、それほどではないのかもしれない。しかし周りは雑木林に囲まれて明るく、下地も案外と良いので、気持ち良くトライすることができる。

発見後、少しずつ掃除とトライを重ね、2022 年にはほぼ全ての岩のトライを終えたが、残された課題が幾つかあり、2024 年その中で登れそうなものを 2 本トライし解決したので今回改訂版を出すこととした。

シーズンは、この木島平村も多雪地帯なので、12 月から 3 月までは雪に閉ざされボルダーの利用はできない。しかし、南斜面のボルダーについては、雪解けが早いと思われるので、年によっては早めに利用できるかもしれない。

アクセスは、長野県木島平村稲荷地区の蓮寺として有名な稲泉寺を目指していく。県道からの入り口が分かりにくいが、下高井農林高校の入口から入っていくと分かりやすい。

駐車場は 2 ヶ所あり、墓地西側のゲートボール場横の第 2 駐車場を利用した方が無難である。

アプローチは、稲泉寺の横を抜け、「城山稲荷稲泉寺登山口」の標識から尾根を登って行くと、10 分弱ほどで、送電鉄塔手前のボルダーエリアに着く。左に G 岩の頭が見え、右に B 岩の頭が見える。I 岩と J 岩は F 岩から下って直ぐの所にある。なお、笹薮エリアは距離的には南側の水路に沿って行ければ早いので、笹薮が酷く大変であったが、2024 年、近道として登山口標識から笹薮を切り開き簡易アプローチを作った。多分来年までにはまた笹に覆われ自然に還ってしまうと思われる。また、東側の農道からも近いのだが駐車スペースに難があり、現状では尾根エリアから下るのが最善である。

《課題紹介》

【尾根南エリア】

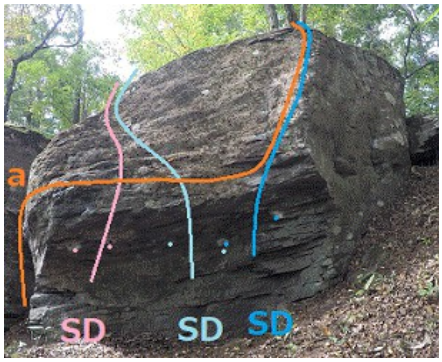
●A 岩　左：南面　右：東面

3.5m 程の大きな岩で、現在課題は 4 本あるが、あと数本難しい課題ができそうである。各課題は高さがあるので、クラッシュパッドはしっかり敷きたい。

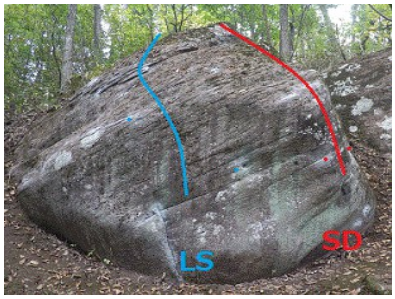
赤ラインは、LS でスタートできそうなホールドがあったが最初のトライで剥がれてしまい、極度に難しくなってしまった。

黄色ラインは、外傾レッジにマントリングで立ち、上部は慎重にいけば問題なし。
青ラインは、ガバの SD でスタートし、カンテ左右のガバを使っていくが、後ろの木要注意。
水色ラインは、ハング少し上のホリゾンタルホールドに立ち、あとは身長がある程度あれば上部のガバに手が届く。

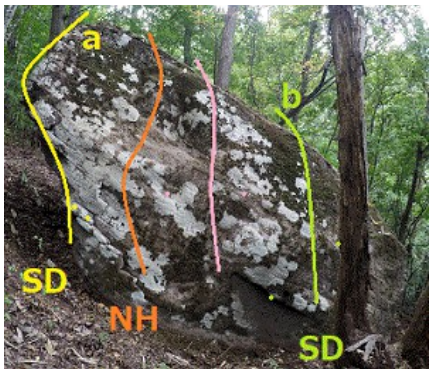
●B 岩　左:南面　　右:東面
チムニーを挟んで、A 岩の東側にあるルーフを持つ岩。
青ラインとオレンジライン辺りが面白い。　北東面はガバがあり登れそうだが、上部に良いホールドなく未解決。

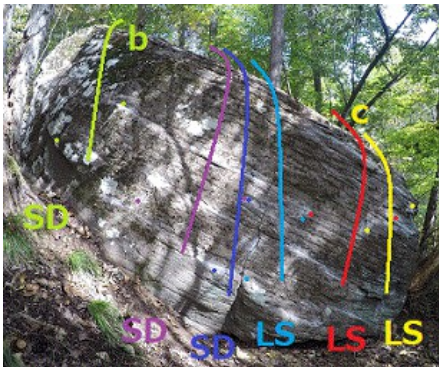


●C 岩
A 岩のすぐ西側にある岩で上がスラブなので、出だし 2m 程が対象。
赤ラインは易しそうに見えるが、あまり良い足がない。

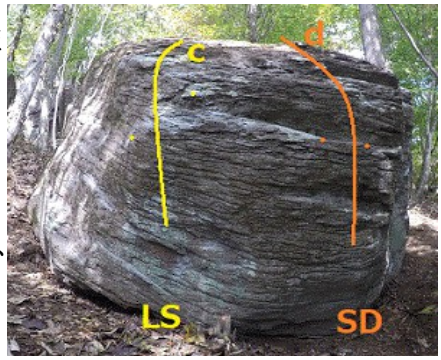


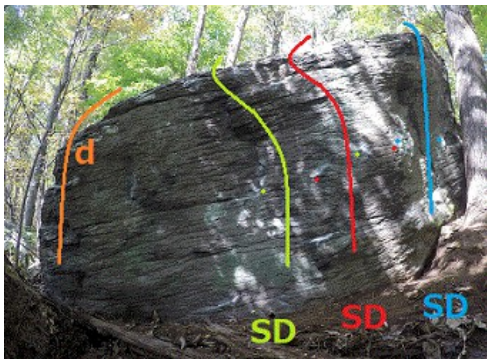
●D 岩
上段左:西面左上東面右
上段右:西面右下北面
中段左:南面
中段右:東面左下
下段左:東面右上
下段右:北面



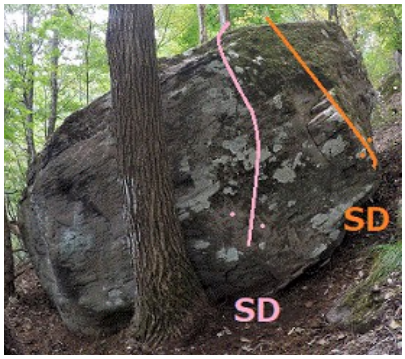


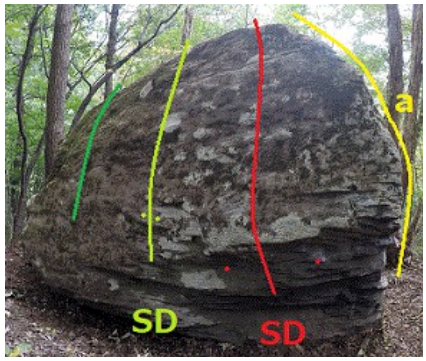
全体的には大きく、現在 18 本の課題がある。
上がスラブで、高さがあまりないので、各課題の長さは短い。





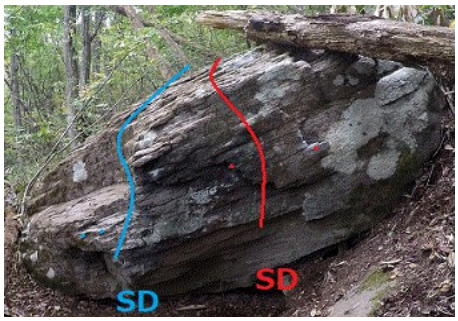
課題として面白いのは北面の赤ライン、東面の 3 本、南面のオレンジライン辺りだが、西面右下付近は、スタートホールドをいろいろと変えてトライすると楽しめる。
なお、各 LS は、腰を下ろした状態からのスタートである。





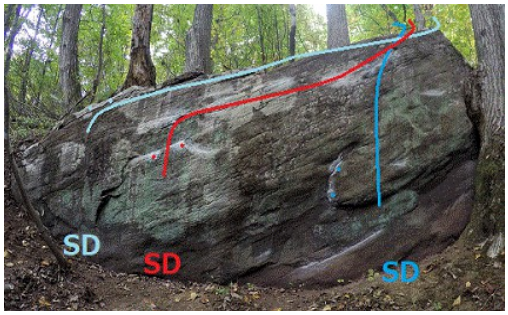
●E 岩

A 岩の下にある背の低い小さな岩。SD 課題が 2 本ある。



●F 岩

C 岩から西に少し下ったところにある岩。高さはないが、横に長く、赤ラインのトラヴァース課題が面白い。



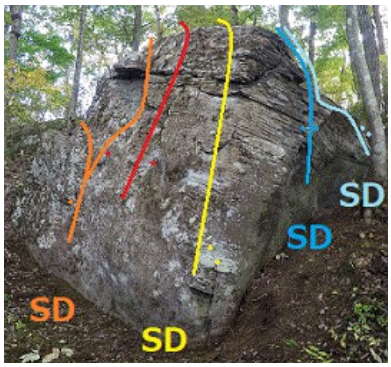
【尾根北エリア】

●G 岩

尾根の北側にある 3.5m 程のスラブ状の岩。苔が酷かったが落としたらそこそこ楽しめる課題が何本かできた。

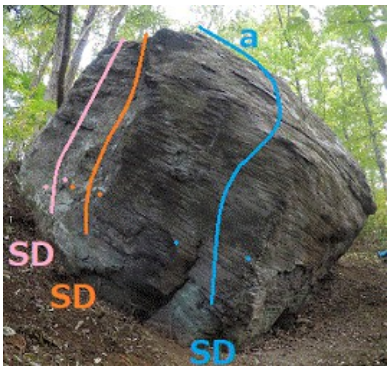
課題に難しいものはないが、赤ラインは上部のガバを取るまでのムーヴがちょっと微妙である。

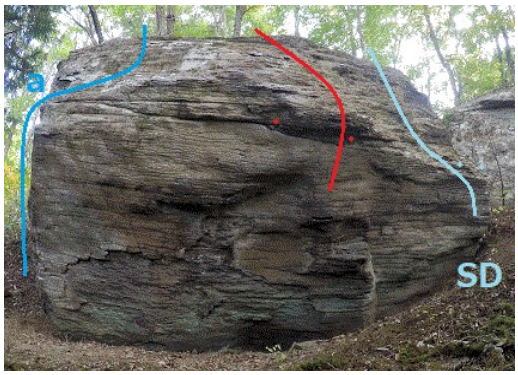
オレンジラインの右抜けは、左抜けのレッジは不使用。



●H 岩

左：北面　右：西面





G 岩の斜め下にある 4m 程のハイボール。上部のスラブはやはり苔だらけだったが、落としたら見栄えの良いボルダーとなった。

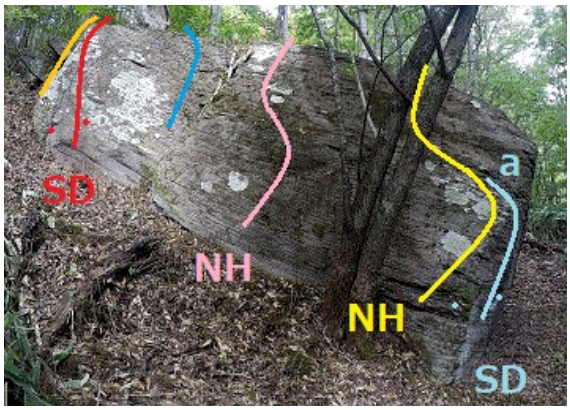
北面は垂壁だがホールドの向きが悪く、バランスをどう取るかがポイント。

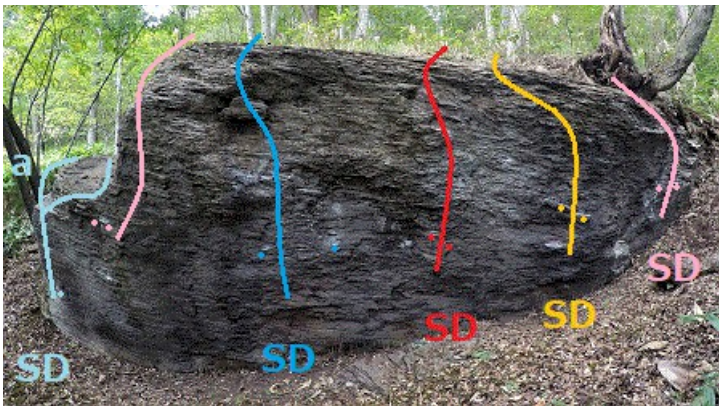
青ラインは、カンテ左から SD スタートし、上部は西面のスラブに回り込むが、変化があり面白い。

西面は出だしが被っており、上部はスラブになるが逆層なので難しい。現在、課題は右のカンテ寄りにある水色ライン（アンダー気味のフレークを取るまでのムーヴが面白い）と赤ライン（2024 年解決。リップすぐ下のホールドスタートで 1 手目右で上のスラブのガバを取るが、ホールドが分かれば難しくはない。SD は未解決）のみだが、中央付近は他に 2～3 本程度の難しい課題ができそうである。未解決課題は力あるボルダラーに今後期待したい。

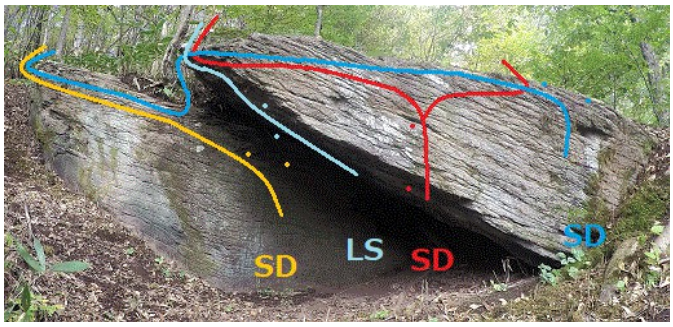
【下部笹藪エリア】

●I 岩（上の笹藪岩）





上左：西面
上右：南面
右：上のハング



尾根エリアの F 岩から少し下ったところにある高さ 2.5m から 3m 程の横長の岩。

南面は薄被りの前傾壁。ホリゾンタルホールドだが、フィンガーホールドに慣れていない者にはちょっときつい。

今後、未だ幾つかの難しい課題ができる可能性がある。

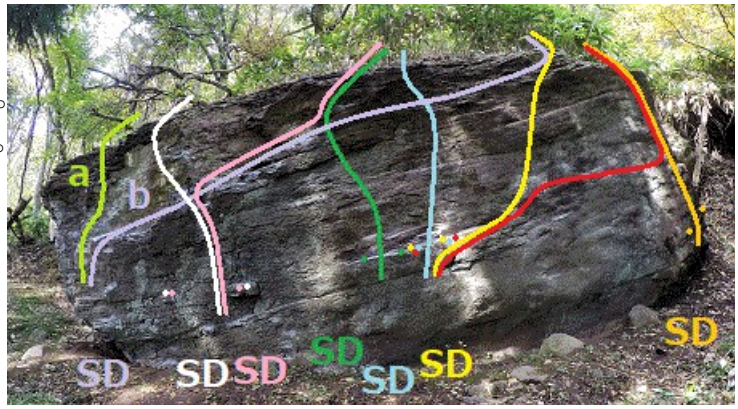
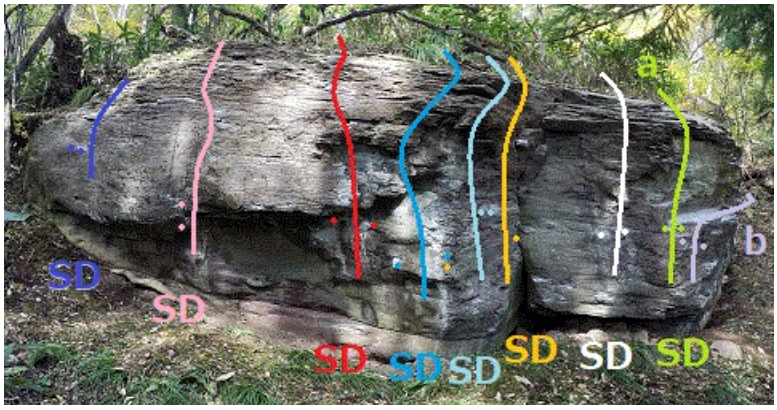
西面は易しい課題のあるスラブ。

上に見栄えのするハングがあるが小さいのが残念。水色ラインのスタートは左手はハング奥のかかりの良いカチホールド、右手はハング右寄りの小カチでデッドで右手をリップに飛ばす。

●J 岩（下の笹藪岩）

右：右側　　右下：左側

I 岩の一段下にある横長の 2.5m 程の岩。南側が杉の植林なので、少々乾きが悪い。反面、夏場に乾いていれば日陰になるので暑さは若干避けられそうである。

全体的にガバっぽいホールドが多いが、外傾ホールドが殆んどなので登りにくい。

2024 年に残されていた課題（赤ライン）を解決した。核心のホールドが遠いが、指のしっかりかかる左手のカチホールドで保持し右手を右のオレンジライン近くのカチホールドにとばすが、ムーヴをしっかりと組み立てれば左程難しさはない。